揺れ動く国際社会の中。
外国人から見た人権意識に視点をあてる――！

サンコンは語る――

「僕の肌、黒いでしょ・・・肌の色隠せないの」
「僕思うの、心の問題が差別をなくしていくの」
「だって、同じ地球に住む人間だもの・・！」

愛は海より深く

オスマン・サンコン　村尾香利
亀山忍
ジェフ・バーグランド
久保明
野口ふみえ
岡八郎
桜むつ子
長門勇

監督■黒田義之
撮影■林健作
照明■井上孝二
編集■荒木健夫
記録■谷慶子
録音■マイクル佐俣
整音■栗山日出登
音楽■森琢磨
脚本■石村嘉子
八頭司重信
プロデューサー■管田浩
製作■八頭司享

企画／和歌山県同和委員会　制作／共和教育映画社
制作協力／東映京都スタジオ・東映京都撮影所

映画の視点

●部落差別は、法制定当時と現在では部落差別の形態は変わっていますが、今なお部落差別が発生しておりその部落差別を考察するとき、差別の本質には変わりのないことに視点をあて学習を深めて下さい。

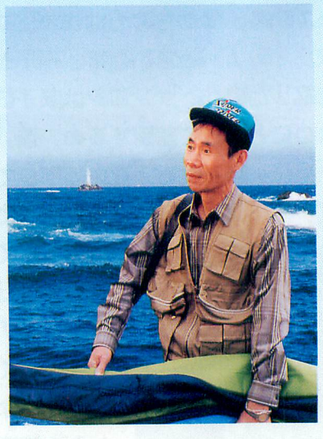
●基本的人権の確立が国際世論として高まってきている今日、日常生活を通して国民の人権意識はどうか。また、人権に対する厳しさを通して不合理な部落差別に対する怒りがどうなっているのか学習を深めて下さい。

●国際化が進み、日常生活そのものが国際社会になっているわが国において、居住している外国の人達は、１割程度いると言われていますが外国の人達に対する差別と部落差別とのかかわりとちがいについて学習を深めて下さい。

●それぞれの文化意識を持つ外国の人達は、日本社会で生活し部落差別をどのように見て、どのように考えているか。そして、同和問題とは何かと問われた時に、国民はどのように対応していくべきかについて学習を深めて下さい。

●部落差別の歴史的過程を通して、現在社会においても地区住民が差別を受けている現状認識に立ち、地区住民は如何に「心を痛め、苦しみ、悲しみ」生活しているかについて視点をあて「国民的課題」に関して学習を深めて下さい。

●1994年は国連が定めた国際家族年です。幸せな生活は、国民共通の願いであり、一人ひとりが、どうあるべきか学習を深めて下さい。

プロダクションノート

オスマン・サンコン　「シナリオを見たとき、自分の人生そのものが書かれているので驚いた。世界中の差別を無くしたい。そんな気持ちでこの映画に出演した。」
ジェフバーグランド　「ロケーションは楽しかった。出演依頼がきたときサンコンをいじめる役だったら断るつもりだった。」
村尾香利（順子）　「力一杯やりました。この映画を見て差別がなくなればと思っています。」
亀山忍（順子の恋人）　「兄貴（阪神タイガース外野手）に負けないようテレビ、ラジオと頑張っていますが、初めて教育映画に出演させて頂だき緊張しました。そして、素晴らしい人たちに出会えたことを感謝しています。」